

# 数学

## 大阪公立大学 [理系] (前期)

### <全体分析>

試験時間	120分	解答問題数	4題
------	------	-------	----

#### 解答形式

記述式

#### 分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

#### 出題の特徴や昨年との変更点

誘導の小問が活かせるかがポイント (大阪市立大学からの傾向)。

#### その他トピックス

複素数平面上の直線が大きく取り上げられた。

### <大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
第1問	確率 数列	数学A 数学B	じゃんけん、反復試行、確率漸化式	標準
第2問	複素数平面	数学III	複素数平面上の直線、回転、共役複素数の性質	標準
第3問	積分法 極限	数学III 数学III	部分積分法、定積分の評価、数列の極限	やや難
第4問	整数 式と証明	数学A 数学II	素数で割り切れることに関する論証、二項定理	難

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

### <学習対策>

本格的な応用力を試される問題も多かったため、解答を丸暗記するのではなく、普段から自分で考えることを心がけよう。また、誘導の小問がついている問題が多いので、誘導を利用する練習をしよう。